

競 技 注 意 事 項

1 競技について

- (1) 本競技会は.2017 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会要項並びに競技注意事項によって行う。
- (2) 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。但し、投てき用具、棒高跳用ポールについては各自持参のものを検定の上使用してもよい。(検定はダッグアウト左側で行う。)
- (3) ナンバーカードは胸部と背部につけること。但し、跳躍競技の競技者は背または胸だけでよい。
- (4) すべてのトラック種目は、予選から写真判定を行う。腰ナンバーカードの①～⑧番までは、中高校生は各学校で準備する。その他の競技者は招集所で配布する。1500m, 3000m 競技は招集所で配付する腰ナンバーカードを使用する。5000m競技は招集所で配付する通しナンバーカードと腰ナンバーカードを使用する。但し、リレー競技においては第4走者のみでよい。腰ナンバーカードは右腰やや後方につける。
- (5) 一般高校男子 5000mはグループスタートで行う。
- (6) トラック競技予選及び 800m, 1500m, 3000m, 5000m決勝は、タイムレースで行う。予選で同記録者が 8 名を超えた場合には、1000 分 1 秒で記録された実時間を考慮し、それでも解決できない時は抽選を行う。
- (7) リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙に必要事項を記入し、招集完了時刻の 1 時間前までに招集所の競技者係に 1 部提出する。ユニフォームは、同一のものを着用する。
尚、オーダー用紙には、リレー種目以外からの競技者については出場種目を記入する。
- (8) リレー競技では、同一所属で複数チームが出場するとき、チームを変えて出場することはできない。
- (9) 投てき競技と走幅跳については、トップ 8 を決めてさらに 3 回の試技を行う。
- (10) 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動申込用紙に記入し、競技開始時刻 1 時間 20 分前までに競技者係に提出する。

2 招集について

- (1) 招集は、フィニッシュライン前方の第 2 ゲート出入り口付近で行う。
- (2) 競技者は招集に遅れることのないように注意し、招集所で競技者係から点呼を受けること。(招集開始、完了時刻はプログラムに記載の通りである。) その際、係員によるナンバーカード、スパイク及びシャツ・バッグ等の商標のチェックも受けること。
- (3) 招集は本人が行う。但し、他の種目に出場している場合のみ代理を認める。
- (4) 他種目と兼ねて同時に競技する者は、競技者係及びその種目の審判員に申し出て、競技に支障のないようにする。

3 練習場所について

- (1) 練習はサブグラウンド及び雨覆練習場を使用する。
- (2) 投てき競技の練習は競技場内で審判員の指示により行い、サブグラウンドでの練習は禁止する。
- (3) 事故防止には十分留意すること。

4 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。尚、当日の状況により変更もありうる。

走高跳	中学 男子	1m35 (練習)	1m40-1m45-1m50-1m55-1m60-1m65	(以後 3cm 上げ)
	女子	1m15 (練習)	1m20-1m25-1m30-1m35-1m40	(以後 3cm 上げ)
高校一般	男子	1m60 (練習)	1m65-1m70-1m75-1m80-1m85-1m90	(以後 3cm 上げ)
	女子	1m30 (練習)	1m35-1m40-1m45-1m50-1m53	(以後 3cm 上げ)
棒高跳	中学 男子	2m00 (練習)	2m10-2m20-2m30-2m40-2m50-2m60	(以後 10cm 上げ)
	女子	1m80 (練習)	1m90-2m00-2m10-2m20-2m30-2m40	(以後 10cm 上げ)
高校一般	男子	3m00 3m60 4m20 (練習)	3m30-3m40-3m50-3m60	(以後 10cm 上げ)
	女子	2m30 (練習)	2m40-2m50-2m60-2m70-2m80-2m90	(以後 10cm 上げ)

- (1) 走高跳、棒高跳で最後の一人になり優勝者が決まるまで上記のバーの上げ方とする。
- (2) 第1位が同記録の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

5 計測記録について

- (1) 走幅跳には計測ラインを設ける。

中学男子	4 m 3 0	中学女子	3 m 3 0
一般高校男子	5 m 5 0	一般高校女子	4 m 3 0

- (2) 投てき競技はペグ方式で計測する。

6 表彰について

- (1) 各種別各種目の男女の部でそれぞれ3位までに入賞した競技者に賞状を授与する。但し、中学の部は、男女の部でそれぞれ8位までに入賞した競技者に賞状を授与する。
種別は中学の部と高校一般の部とし、砲丸投及び円盤投の男子のみ高校の部と一般の部とに分ける。
- (2) 各種目の3位までの入賞者は、結果発表後ただちに入賞者席に移動して表彰を受けること。
- (3) 希望者には申し出があれば記録証を発行する。(1部100円)

7 競技者の移動、応援ならびにテントの設営について

- (1) 役員・係以外の本部席前の通行を禁止する。
- (2) 招集所から競技場への移動は係の指示に従うこと。その場合、スタート地点のゲート、フィニッシュライン地点のゲートを使用し、その他の出入口は一切使用しない。
- (3) その競技を行う競技者以外は競技場内に立ち入ってはならない。
- (4) 応援は競技運営に支障のないように行うこと。特に正面スタンド、各フィールド種目実施場所付近及び招集所付近での集団応援は禁止する。
- (5) 正面スタンドにおけるテントの設営は中段より上とする。
- (6) 正面スタンドの前日の場所取りはできません。当日は7時に正面入り口を開放する。

8 救護について

競技中に発生した傷害事故等に対しては、主催者は応急処置を行うが、それ以外の責任は一切負わない。尚、大会当日の傷害については、主催者側が加入する「傷害保険」が適用される。

9 その他

- (1) ごみは各自での持ち帰りをお願いします。
- (2) 特に最近盗難事故が多発しています。貴重品の管理は、各自で責任を持って行ってください。